

「企業会計」の決算状況

病院事業

●収益的

・収入 123億8,676万円

・支出 122億9,339万円

●資本的

・収入 4億9,181万円

・支出 8億577万円

◇収益的収支が6年連続の黒字！

7対1看護体制の実現や手術件数・抗がん剤治療件数の増など収益の確保に努めた結果、収支状況は約9,337万円の黒字となりました。

水道事業

●収益的

・収入 22億3,839万円

・支出 19億4,966万円

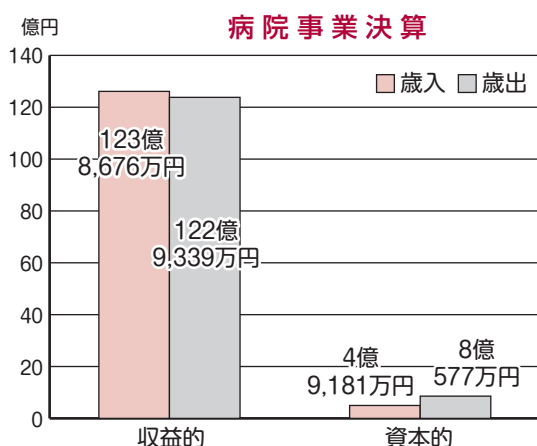
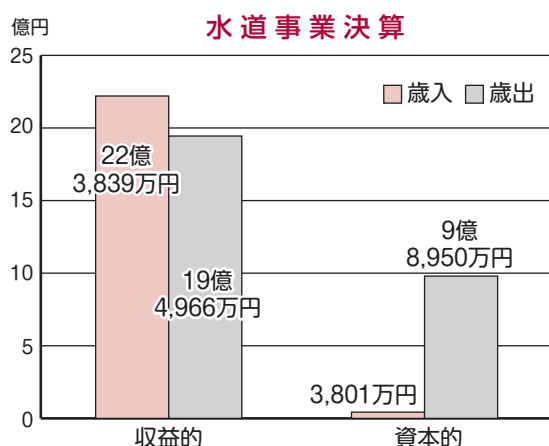
●資本的

・収入 3,801万円

・支出 9億8,950万円

◇収益的収支が13年連続の黒字

給水人口の減少などにより水道料金収益は減少したものの、会計制度改正による非現金収入等により、全体の収益は増となり、窓口業務の民間委託等の経費削減の結果、2億2,700万円余りの純利益が生じました。



半田市の財政を家計にたとえてみると

1か月の支出42万4千円(※)をまかなうのに、月収(市税など)や実家からの仕送り(国庫支出金、県支出金)などに加え、ローン(市債)も利用し、44万円の収入がありました。

これからは家族の医療費(扶助費)、家の補修費用(維持補修費)の増加が見込まれるため、生活費(人件費、物件費)などを切り詰めるとともに、できるだけ貯金(基金)を増やすことや新たなローン(市債)を考えなくてはなりません。

はんだ家1ヶ月の家計簿

※()は予算上の項目です。

収 入		支 出	
月収(給料、各種手当) (市税、地方交付税、地方譲与税ほか)	25万2千円	家族の医療費など (扶助費)	8万7千円
パートなどの副収入、資産活用、雑収入など (使用料、負担金、財産収入など)	8万2千円	ローンの返済 (公債費)	2万1千円
実家からの仕送り (国・県支出金など)	7万7千円	生活費(食費、光熱費など) (人件費、物件費)	10万3千円
ローンの借入 (市債)	8千円	家の増改築、補修など (維持修理費、普通建設事業費)	9万7千円
先月の残り (繰越金)	2万1千円	家族への仕送り (繰出金、補助費)	10万円
		貯金、その他雑費 (基金積立金など)	1万6千円
合 計	44万円	合 計	42万4千円

※日本の一世帯当たりの平均所得月額44万円に、半田市の一般会計歳入歳出決算額に占める各費目の割合を乗じ、一般家庭に相当するそれぞれの額を算出しています。(参考:厚生労働省「平成26年国民生活基礎調査」)